

片岡製作所社長

西 則男氏

インタビュー



—電気自動車（EV）市場の見通しは。EVが進む。ただ、全てがEV化、電動化の流れは変わらない、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の達成とその先に向けた積極的な開発や投資

「長い目で見るとEV化、電動化の流れは変わらない、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の達成とその先に向けた積極的な開発や投資」

—世界シェアトップの二次電池検査システムが進む。ただ、全てがEVではなく、ハイブリッド車（HV）もプラグインHVも過渡期もあり、今は各メーカーの戦略やスケジュールの違いが出ている」

二次電池検査機を增強

△が好調で、生産能力も增強します。

「生産が逼迫（ひっぱく）していたが、今回の增強で夏頃にキャパシティーが増えるほか、その先で予定する設備投資でもさらに高めて供給責任を果たす。また、製品競争力もさらに強化するため、大学と共同研究している。次世代太陽電池で市場の大きな伸びが期待されるペロブスカイト太陽電池向けのレーザーパターニング装置では、生産性の高い装置開発を進めていく」

—レーザー加工機の新製品の状況は。

「新製品は半導体や電子部品業界向け超精密穴開け装置。従来比3倍の速さで10μm（マイクロは100万分の1）の微細穴開け加工を2μm1μm精度で行え、かなり注文を頂いている。このほか、ライフサイエンス向け細胞プロセス装置が米国でも好評を得ていて期待できる」